2020年度
大森勝山遺跡経過観察年次報告書

2022年3月
弘前市

1　資産の顕著な普遍的価値と完全性・真実性に関する観察指標

項目	指標	測定内容・方法	備考
Ⅰ.顕著な普遍的価値を伝達する属性の保護・管理	Ⅰ-1. 属性a)自然資源を巧く利用した生活の在り方を示すこと	- 遺構・遺物の保存状態の把握・記録（Ⅱ-2～8,10～13,Ⅳ-1,Ⅴ-2）	
		- 構成資産及び周辺の植生の状態とその管理状況の把握（Ⅱ-9,Ⅳ-2）	
		- 構成資産から周辺への眺望の把握（Ⅲ-1～5,Ⅳ-2）	
	Ⅰ-2. 属性b)祭祀・儀礼を通じた精緻で複雑な精神性を示すこと	- 遺構・遺物の保存状態の把握・記録（Ⅱ-2～8,10～13, Ⅳ-1,Ⅴ-2）	
		- 構成資産から周辺への眺望の把握（Ⅲ-1～5,Ⅳ-2）	
	Ⅰ-3. 属性c)集落の立地と生業との関係が多様であること	- 構成資産から周辺、構成資産周辺から構成資産への眺望の把握（Ⅲ-1～5,Ⅳ-2）	
		- 構成資産が立地する地形の崩壊、変形状況の把握・記録（Ⅱ-10,Ⅴ-2、Ⅵ-1～2）	
		- 構成資産及び周辺の植生の状態とその管理状況の把握（Ⅱ-9,Ⅳ-2）	
		- 構成資産周辺の景観阻害要因と景観の改善と変化の把握（Ⅲ-1～5）	
	Ⅰ-4. 属性d)集落形態の変遷を示すこと	- 遺構・遺物の保存状態の把握・記録（Ⅱ-2～8,10～13,Ⅳ-1,Ⅴ-2）	
		- 構成資産から周辺への眺望の把握（Ⅲ-1～5,Ⅳ-2）	
		- 被害等対策のための基礎情報の把握（Ⅱ-1～4,11,14,Ⅲ-4,Ⅳ-1,Ⅴ-1,Ⅵ-1,2）	

2 構成資産の保護・管理に関する観察

項目	指標		前年度結果		今年度結果		備考
Ⅱ.資産の保全状況と保護・管理	Ⅱ-2. 構成資産における現状変更件数	文化財保護法に基づく史跡の現状変更の許可申請・届出の件数及びその内容を把握する。	3件		4件		整備工事に伴う現状変更許可申請
	Ⅱ-3. 構成資産におけるき損件数	文化財保護法に基づく史跡のき損届の件数及びその内容を把握する。	0件		0件		
	Ⅱ-4. 遺産影響評価の実施件数	史跡整備、き損時の修復等に係る遺産影響評価の実施件数を把握する。	0件		2件		表1参照
	Ⅱ-5. 構成資産の公有地化率	民有地の買い上げ実施状況を把握する。	99.8%		99.8%		
	Ⅱ-6. 遺構の状況	遺構の状況について、観察、写真撮影等により記録する。	腐食・劣化なし		腐食・劣化なし		表2参照
	Ⅱ-7. 気温、湿度、降水量の経年変化	大気の常時観察を行い、気温、湿度、降水量の変化を計測する。	年平均気温	11.4℃	年平均気温	11.5℃	年平均気温・年間降水量は弘前、湿度は青森の数値を引用
			湿度	73%	湿度	76%	
			年間降水量	1,071.0mm	年間降水量	1433.5mm	
	Ⅱ-8. 地下水位	低湿地における水量、水質の状況を観察する。					
	Ⅱ-9. 植生の状況	構成資産内の植生の状況について観察、写真撮影等により測定する。	変化なし		変化なし		表3参照
	Ⅱ-10. 災害後の被害状況把握	風水害、土砂災害、地震等による構成資産における被害状況を把握する。	被害なし		被害なし		
	Ⅱ-11. 構成資産の保存活用協議会等の開催数	構成資産を所管する地方公共団体を中心とした史跡整備委員会、保存活用協議会等の開催数を把握する。	9回		4回		表4参照
	Ⅱ-12. 資産の調査研究	資産に関わる調査研究の実施状況及びその内容、調査研究成果等を掲載した報告書等の発刊数を把握する。	1件		0件		表5参照
	Ⅱ-13. 関連文化財の調査研究	構成資産に関連する文化財の調査研究の実施状況及びその内容、調査研究成果を掲載した報告書等の発刊数を把握する。	1件		0件		表6参照
	Ⅱ-14. 調査研究体制の充実	構成資産の調査研究等を担う専門職員の数を把握する。	3人		3人		

３ 構成資産及び緩衝地帯に影響を与える諸条件に関する観察指標

項目	指標		前年度結果		今年度結果		備考
Ⅲ.開発圧力	Ⅲ-1. 公共事業の発注件数	緩衝地帯の道路、河川、治山等の公共事業発注件数を把握する。	0件		0件		
	Ⅲ-2. 民間の開発行為件数	緩衝地帯における開発許可申請や建築確認件数を把握する。	開発許可申請	0件	開発許可申請	0件	表7参照
			建築確認件数	0件	建築確認件数	0件	
	Ⅲ-3. 景観条例に基づく届出件数	景観条例に基づく届出件数を把握する。	届出件数	0件	届出件数	0件	
			事前協議件数	0件	事前協議件数	0件	
	Ⅲ-4. 遺産影響評価の実施件数	開発行為等に係る遺産影響評価の実施件数を把握する。	0件		0件		表8参照
	Ⅲ-5. 構成資産の内外からみた眺望の観測	視点場からみた眺望の定点観測により、視界に入り込む阻害要因を把握する。	変化なし		変化なし		表9参照
Ⅳ.環境変化	Ⅳ-1. 大気汚染に係る環境基準達成状況（二酸化硫黄・二酸化窒素）	大気の常時監視を行い、大気の二酸化硫黄・二酸化窒素含有量を測定する。	二酸化硫黄		二酸化硫黄		数値等は、青森市(堤小学校一般環境大気測定局)を引用。
			年平均値	0.001ppm	年平均値	0.001ppm	
			日平均値の年間2%除外値	0.002ppm	日平均値の年間2%除外値	0.002ppm	
			環境基準適否	適	環境基準適否	適	
			二酸化窒素		二酸化窒素		
			年平均値	0.006ppm	年平均値	0.006ppm	
			日平均値の年間98%値	0.018ppm	日平均値の年間98%値	0.024ppm	
			環境基準適否	適	環境基準適否	適	
	Ⅳ-2. 植生の状況	構成資産周辺の植生の状況について観察、写真撮影等により記録する。	変化なし		変化なし		表10参照
Ⅴ.自然災害	Ⅴ-1. 災害発生情報の観測	気象・地震・津波・火山活動による災害発生情報を把握する。	0回		0回		
	Ⅴ-2. 災害後の被害状況把握	風水害、土砂災害、地震等による構成資産周辺の被害状況を把握する。	被害なし		被害なし		

項目	指標		前年度結果	今年度結果	備考
Ⅵ.観光圧力	Ⅵ-1. 来訪者数	構成資産への来訪者数を測定する。	構成資産への来訪者数	構成資産への来訪者数	表11参照
			6,977人	4,542人	
			ガイダンス施設への来訪者数	ガイダンス施設への来訪者数	
			9,829人	9,511人	
	Ⅵ-2. 自動車数	構成資産の周辺地域における駐車場入込状況を測定する。	影響なし	影響なし	表12参照
	Ⅵ-3. 便益施設等の設置状況	構成資産における便益施設等の設置状況を把握する。	未設置	仮設トイレを設置	表13参照 今後整備していく予定

4 顕著な普遍的価値の伝達に関する指標

項目	指標		前年度結果	今年度結果	備考
Ⅶ.顕著な普遍的価値の伝達	Ⅶ-1. 資産に関する研修会等への参加者数	資産に関する研修会、セミナー等への参加者数を測定する。	延べ381人	延べ216人	表14参照
	Ⅶ-2. ガイダンス施設の設置状況	構成資産におけるガイダンス施設の設置状況を把握する。	一部設置	一部設置	弘前市裾野地区体育文化交流センターの一部スペースを利用して展示を実施中
	Ⅶ-3. パンフレットやホームページによる情報提供	刊行されているパンフレット等、地方公共団体共通のホームページにより、情報提供の回数・状況を把握する。	パンフレット等の発行回数	パンフレット等の発行回数	表15参照 パンフレット等の発行部数:0部(過年度残部を利用)。 ホームページのアクセス数:2,607件。
			0回	0回	
			ホームページの更新回数	ホームページの更新回数	
			8回	3回	
Ⅷ.地域住民、民間団体の活動	Ⅷ-1. 資産に関する地域住民、民間団体の活動	構成資産での地域住民、民間団体等の活動内容や参加人数等を測定する。	延べ442人	延べ66人	表16・17参照

表1　資産内における遺産影響評価の実施状況
【行為等の詳細分析の要否判断結果】

構成資産名	行為地	行為の概要	影響の有無	詳細分析の要否	判断理由	記録作成機関
大森勝山遺跡	構成資産内	園路舗装等工事	なし	否	当該行為は、構成資産内に保護盛土した上で園路舗装や階段、スロープ整備を行うものであり、現地表面の掘削は行わないことから、地下遺構に直接負の影響を与えるものではない。また、視点場No.1・2からは直接視認できないため、景観・眺望に与える負の影響はないものと評価された。そのためOUV及び属性に対する負の影響はないものと判断されたことから、評価指針表5のレベル0に該当するものと判断した。	弘前市教育委員会文化財課
大森勝山遺跡	構成資産内	遺構等説明板整備にかかる実施設計策定	なし	否	当該行為は、構成資産内に遺構説明板等を整備するための実施設計を策定するものである(2022年設置予定)。説明板の基礎は保護盛土内に収まり、遺構への直接的な負の影響はない。また、視点場No.1・2から直接視認できるものの、高さ30㎝程度に抑えたものであり、景観・眺望に与える大きな負の影響はないものと評価された。そのためOUV及び属性に対する負の影響はないものと判断されたことから、評価指針表5のレベル0に該当するものと判断した。	弘前市教育委員会文化財課

【詳細分析を実施した案件】

構成資産名	行為地	行為の概要	分析方法	分析結果	評価理由	記録作成機関
該当なし						

表2　遺構の状況

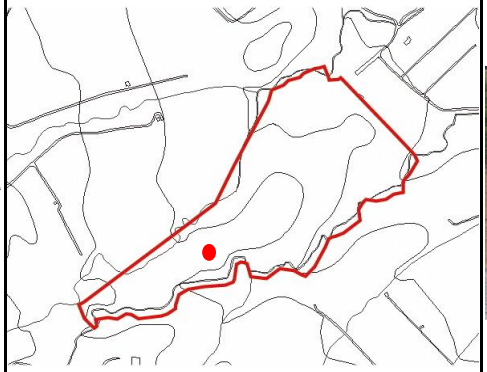
地点名	位置	前年度	今年度	備考
台地東側	(図面) ※矢印方向を撮影	(写真) 2019年11月５日撮影	(写真) 2020年10月19日撮影	・2020年2月～同年11月にかけて、史跡整備事業における環状列石の実物大表示等を実施。 ・遺構の腐食・劣化は発生していない。
竪穴建物跡	(図面)  ※赤丸地点を撮影	(写真) 2019年6月27日撮影	(写真) 2020年10月６日撮影	・遺構の腐食・劣化は発生していない。

表3　植生の状況（構成資産範囲）

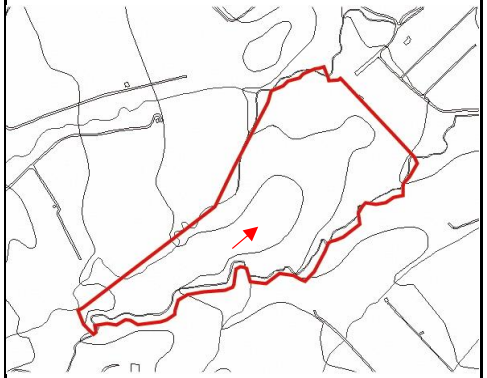
地点名	位置・方向	前年度	今年度	主な樹種、外来種等
台地へ至る園路	（図面） ※矢印方向を撮影	（写真） 2019年7月29日撮影	（写真） 2020年9月23日撮影	主な樹種：落葉広葉樹（アカシデ、ヤマナラシ、ミズキ、クルミ等）、針葉樹（アカマツ等） 園路から目立つ枝等については伐採等管理している。
竪穴建物跡東側	（図面）  ※矢印方向を撮影	（写真） 2019年8月8日撮影	（写真） 2020年10月6日撮影	主な樹種：落葉広葉樹（クリ、クルミ、ミズナラ等）、針葉樹（アカマツ等） 園路から目立つ枝等については伐採等管理している。

表4　構成資産の保存活用協議会等の開催状況

【構成資産を主体とした協議会の開催状況】

名称	開催年月日	議事・報告事項	備考
史跡大森勝山遺跡保存活用推進会議	第1回 2020年5月26日	公開活用イベントの実施について ※新型コロナウイルス感染症の影響により、本会議で今年度イベントを中止とした。	
	第2回 2021年3月19日	今年度整備事業の進捗と来年度以降の整備スケジュールについて（報告）	

【保存・活用に係る委員会の開催状況】

名称	開催年月日	議事・報告事項	備考
史跡大森勝山遺跡整備指導委員会	第1回 2020年7月10日	整備工事状況並びに整備に伴う確認調査の視察、整備方法の審議	整備工事：環状列石等整備工事、駐車場等基盤造成工事 実施設計：説明板等整備工事
	第2回 2020年10月19日	整備工事状況並びに整備に伴う確認調査の視察、整備方法の審議	整備工事：環状列石等整備工事、駐車場等基盤造成工事 実施設計：説明板等整備工事
	第3回 2021年3月8日	整備方法・実施設計等の審議	整備工事：駐車場等基盤造成工事 実施設計：説明板等整備工事

表5　資産の調査研究

【調査研究の実施状況】

調査研究の内容	実施主体	実施期間	概要	別添資料の有無	補助金等
史跡整備に伴う遺構確認調査	弘前市教育委員会	2020.5～2020.9	園路整備における階段・スロープ整備に伴う確認調査。スロープ整備箇所には遺構は確認されず、階段整備箇所には捨て場を確認。階段整備は工法を変更し、地下遺構に影響がないものとした。	■ あり　□ なし	
				□ あり　□ なし	
				□ あり　□ なし	

【調査研究成果等を掲載した報告書等】

名称	作成主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
該当なし						

表6　関連文化財の調査研究

名称	作成主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
該当なし						

表7　民間の開発行為件数

法令･制度等	条文	前年度結果	今年度結果	備考
文化財保護法	第93条	0件	0件	
	第125条	0件	0件	
都市計画法	第29条	件	0件	
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	第7条	件	件	
土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	第10条	0件	0件	
都市公園法（青森県都市公園条例）	第6条	件	件	
砂利採取法	第16条	0件	0件	
森林法	第10条の2	0件	0件	
	第10条の8			
	第34条1項			
	第34条2項			
	第34条の2			
	第34条の3			
河川法	第20条	件	件	
	第24条			
	第25条			
	第26条1項			
	第27条1項			
	第55条1項			
千歳市普通河川条例	第5条	件	件	
洞爺湖町普通河川管理条例	第5条	件	件	
弘前市法定外公共物管理条例	第4条	0件	0件	
函館市普通河川管理条例	第10条	件	件	
砂防法（砂防法施行条例：秋田県条例）	第4条	件	件	
農地振興地域の整備に関する法律	第15条の2	0件	0件	
	第15条の4			
農地法	第4条第1項	0件	0件	
	第5条第1項			
道路法	第24条	件	件	
	第32条			
墓地、埋葬等に関する法律	第10条	件	件	
函館市墓地条例	第8条	件	件	
八戸市墓地、埋葬等に関する法律施行細則	第3条	件	件	
漁港漁場整備法	第39条	件	件	
北海道自然環境等保全条例	第30条	件	件	

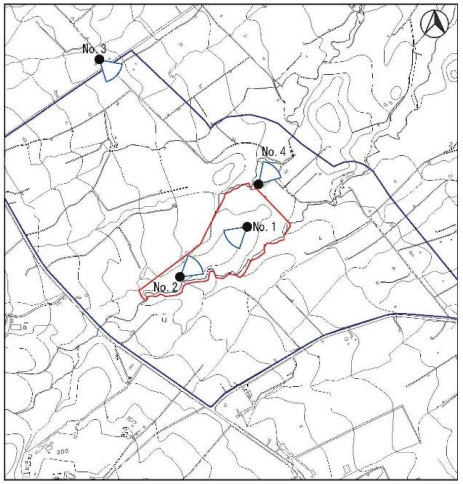
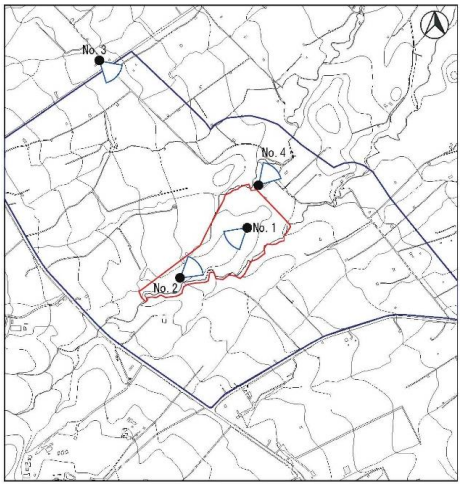
表8 緩衝地帯及びその周辺における遺産影響評価の実施状況
【開発行為等の詳細分析の要否判断結果】

構成資産名	行為地	開発等の概要	影響の有無	詳細分析の要否	判断理由	記録作成機関
大森勝山遺跡	緩衝地帯	史跡隣接地の駐車場の基盤造成工事並びに護岸整備	なし	否	当該行為における資産への物理的影響は皆無であり、視点場No.4から見ても景観・眺望に与える負の影響はないものと評価された。また、当該行為は、資産内からは視認できない。そのためOUV及び属性に対する負の影響はないものと判断されたことから、評価指針表5のレベル0に該当するものと判断した。	弘前市教育委員会文化財課

【詳細分析を実施した案件】

構成資産名	行為地	開発等の概要	分析方法	分析結果	評価理由	記録作成機関
該当なし						

表9　構成資産の内外からみた眺望の観測

地点名	位置	前年度	今年度	備考
視点場1	（図面）  	（写真） 2019年11月５日撮影	（写真） 2020年10月19日撮影	展望景観に負の影響は認められない。
視点場2	（図面）  	（写真） 2019年８月８日撮影	（写真） 2020年10月６日撮影	展望景観に負の影響は認められない。

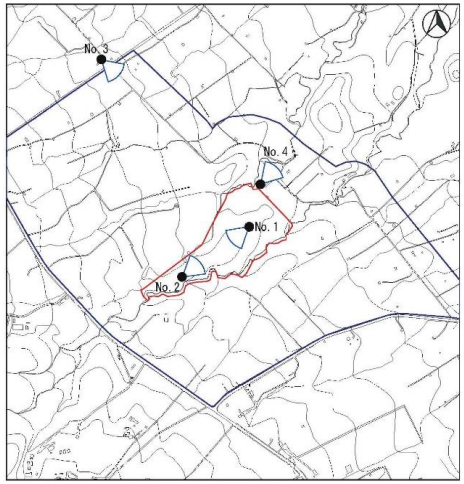
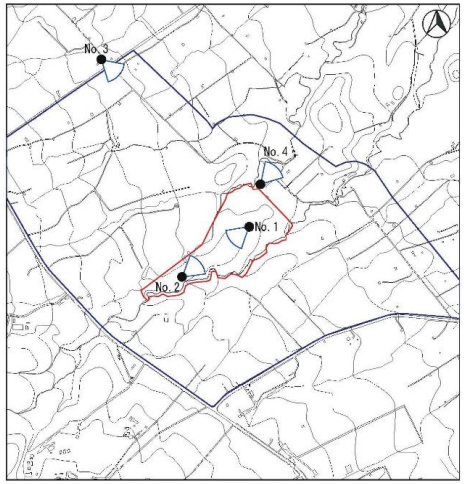
地点名	位置	前年度	今年度	備考
視点場3	(図面)  	(写真) 2019年10月23日撮影	(写真) 2020年10月6日撮影	展望景観に負の影響は認められない。
視点場4	(図面)  	(写真) 2019年7月29日撮影	(写真) 2020年10月6日撮影	右手の土は資産内の園路工事(2021.9竣工見込)に利用するもので、一時的に仮置きしているものであることから、展望景観に大きな負の影響は認められない。

表10　植生の状況（構成資産周辺）

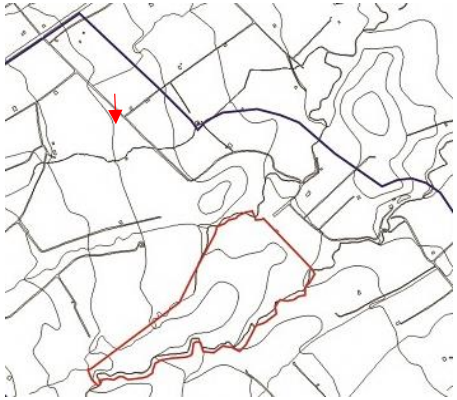
地点名	位置・方向	前年度	今年度	主な樹種、外来種等
遺跡北側の山	（図面） 	（写真） 2019年7月6日撮影	（写真） 2020年9月23日撮影	主な樹種：針葉樹（アカマツ等）
遺跡へいたる道路	（図面） 	（写真） 2019年9月15日撮影	（写真） 2020年10月6日撮影	主な樹種：針葉樹（アカマツ等） 防風林として機能

表11　来訪者数

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
構成資産	53	399	583	972	1,621	520	394	0	冬季閉鎖	冬季閉鎖	冬季閉鎖	冬季閉鎖	4,542	379
ガイダンス施設	434	273	583	539	756	789	506	878	1,059	1,257	1,171	1,266	9,511	793

表12　自動車数

【構成資産（駐車可能台数：30台）】

（単位：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
満車日数	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	冬季閉鎖	冬季閉鎖	冬季閉鎖	冬季閉鎖	0	0
臨時駐車場 開放日数	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	冬季閉鎖	冬季閉鎖	冬季閉鎖	冬季閉鎖	0	0

【ガイダンス施設（駐車可能台数：50台）】

（単位：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
満車日数	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	0	0
臨時駐車場 開放日数	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	0	0

表13　便益施設等の設置状況

【便益施設等の設置状況】

	休憩室	トイレ	乳幼児施設	高齢者用施設	通信環境	その他
構成資産	未設置	未設置	未設置	未設置	未設置	今後、整備していく予定
ガイダンス施設	未設置	あり	未設置	未設置	未設置	ガイダンス施設は未整備だが、弘前市裾野地区体育文化交流センターの一部を利用して展示を実施している

【域内における誘導サインの設置状況】

構成資産	3箇所

表14　資産に関する研修会等の開催状況

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
ちびっこ縄文講座	①2020年7月3日 ②2020年7月7日 ③2020年11月6日	弘前市教育委員会	延べ201人	地元裾野小学校5・6年生児童、裾野中学生全生徒を対象に、大森勝山遺跡の価値や縄文文化、周辺の縄文遺跡、世界遺産登録の取り組みを周知 ①出前講座、②現地見学、③土器づくり体験の3回実施 ※①は小学校5・6年生児童(25人)及び中学生全生徒(29人)、②は小・中学校全児童・生徒(122人)、③は小学校5・6年生児童(25人) ※②では、環状列石実物大表示用石材への記名体験を実施
冬至モニターツアー	2020年12月22日	弘前市教育委員会	15人	冬至の日に、岩木山山頂に太陽が沈む様子を観察する。ガイド養成講座受講者を対象に実施。

表15　パンフレットやホームページによる情報提供

【パンフレット等】

名称	作成(改訂)主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要
該当なし					

【ホームページ】

名称	運営主体	概要	アドレス	言語	更新回数	アクセス数
国指定史跡大森勝山遺跡と世界遺産	弘前市	大森勝山遺跡並びに世界遺産登録の取り組みを紹介	http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gaiyou/chosya/gyousei/omorikatsuyamaisekitosekaiisan.html	日本語	3回	2,607

表16　資産に関する地域住民、民間団体の活動

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
大森勝山遺跡ガイド養成講座	2021年2月3日、2021年2月10日、2021年2月17日	弘前縄文の会	延べ66人	大森勝山遺跡ガイド受講者（22人）対象の講座（3回実施）

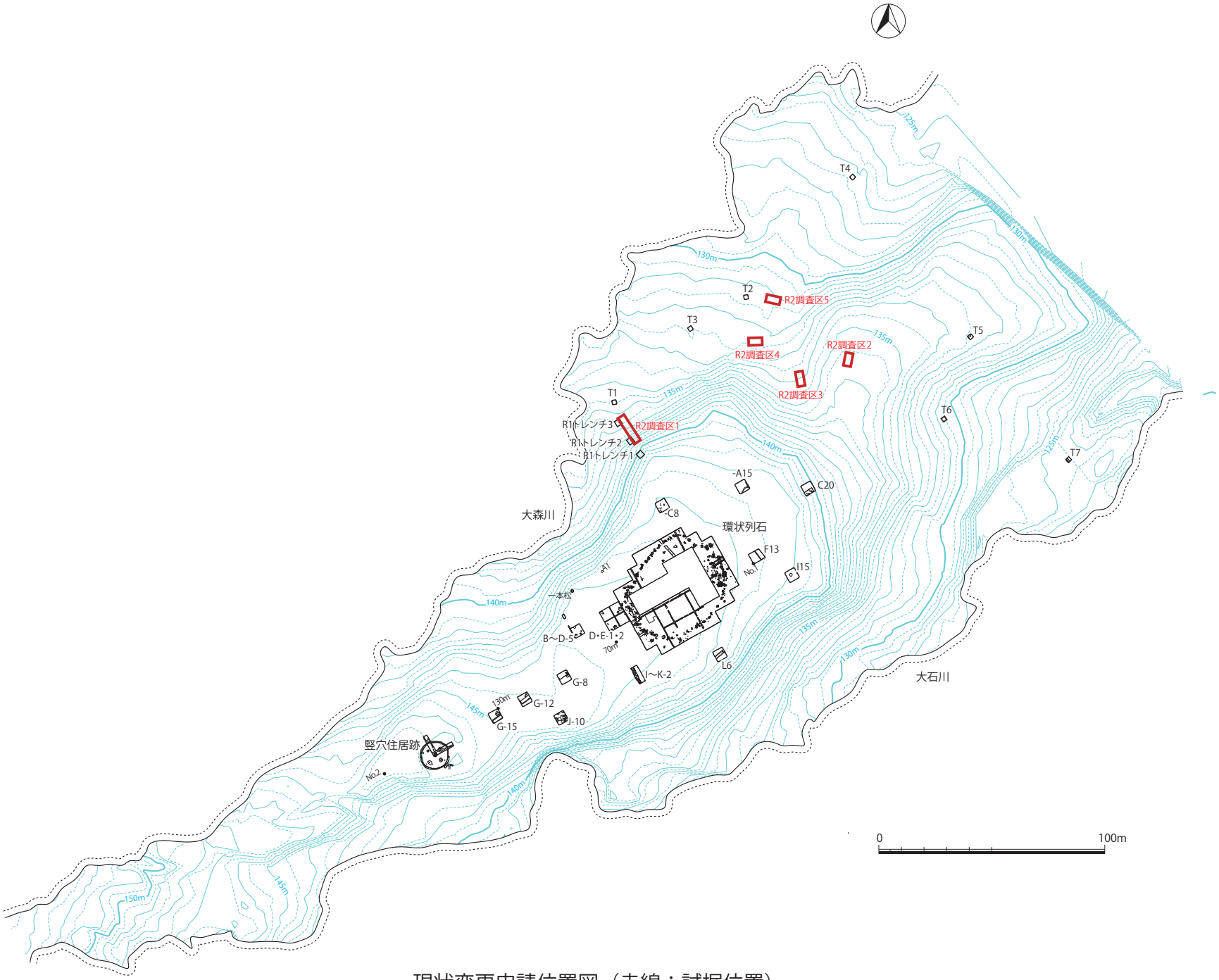
表17　構成資産の保護に関する団体等

【管理団体等の概要】

名称	所有者／管理者	従事者、従業員数	団体の概要
弘前市	史跡大森勝山遺跡の所有者・管理者	【資産管理保全に係る従事者数】 所属長1名、専門職員2名、行政職2名、技師1名	教育委員会文化財課が資産の保存管理を所管している。

【構成資産の保存活用に関わる団体の概要】

名称	団体の種別	会員数	設立年月	団体の概要
史跡大森勝山遺跡保存活用推進会議	任意団体	18名	2013年7月	遺跡の草刈りなどの維持管理、公開活用イベントの実施、遺跡の保全管理を行う。
弘前縄文の会	任意団体	100名	2014年9月	大森勝山遺跡をはじめ、津軽地方の縄文遺跡の価値や魅力を伝えるために設立。大森勝山遺跡のガイド養成講座を実施。



現状変更申請位置図（赤線：試掘位置）

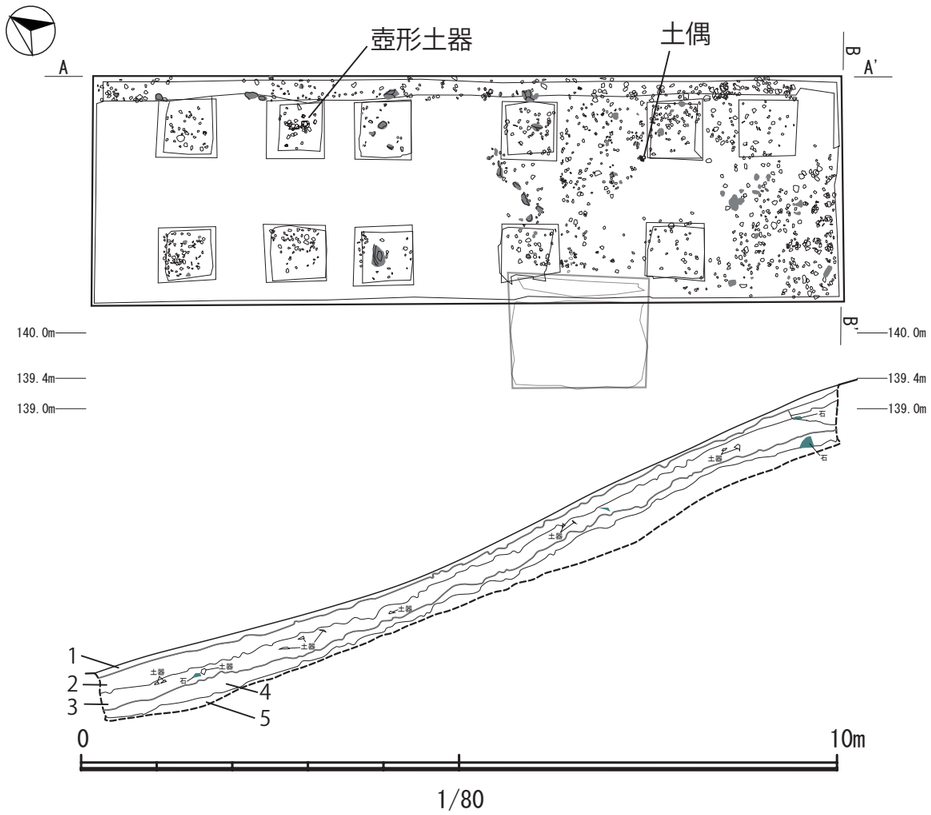
大森勝山遺跡試掘調査成果概要

●調査要項

調査目的：木製階段整備に先立ち、地下の状況を確認し、設計内容を十全なものとするため。

調査面積：54 ㎡（３m×10m×１箇所、３m×２m×４箇所）

調査期間：令和２年５月 12 日～令和２年９月３日



●基本土層

１層：表土、暗褐色土

２層：遺物包含層、黒色土

３層：遺物包含層、黒褐色土

４層：漸移層、暗褐色土

５層：地山層、黄褐色土

●検出遺構・出土遺物の様相

トレンチ上段から中段にかけて、昨年度の調査で確認された捨て場の延長と思われる土器の集中を確認した。他に遺構は確認されなかった。

遺物は、縄文土器、石器（剥片、石匙、石鏃、石皿）土製品（土偶）、石製品（円盤状石製品）が出土した。縄文土器は、大洞 B2 式から大洞 C2 式までのものを確認しており、大洞 BC 式から大洞 C1 式が主体となる。

調査終了状況（南東から）

東壁土層断面（南西から）

北壁黄褐色土堆積状況（南から）

捨て場遺物出土状況（北から）

土偶出土状況（北から）

壺出土状況（下段、北から）

●調査の成果

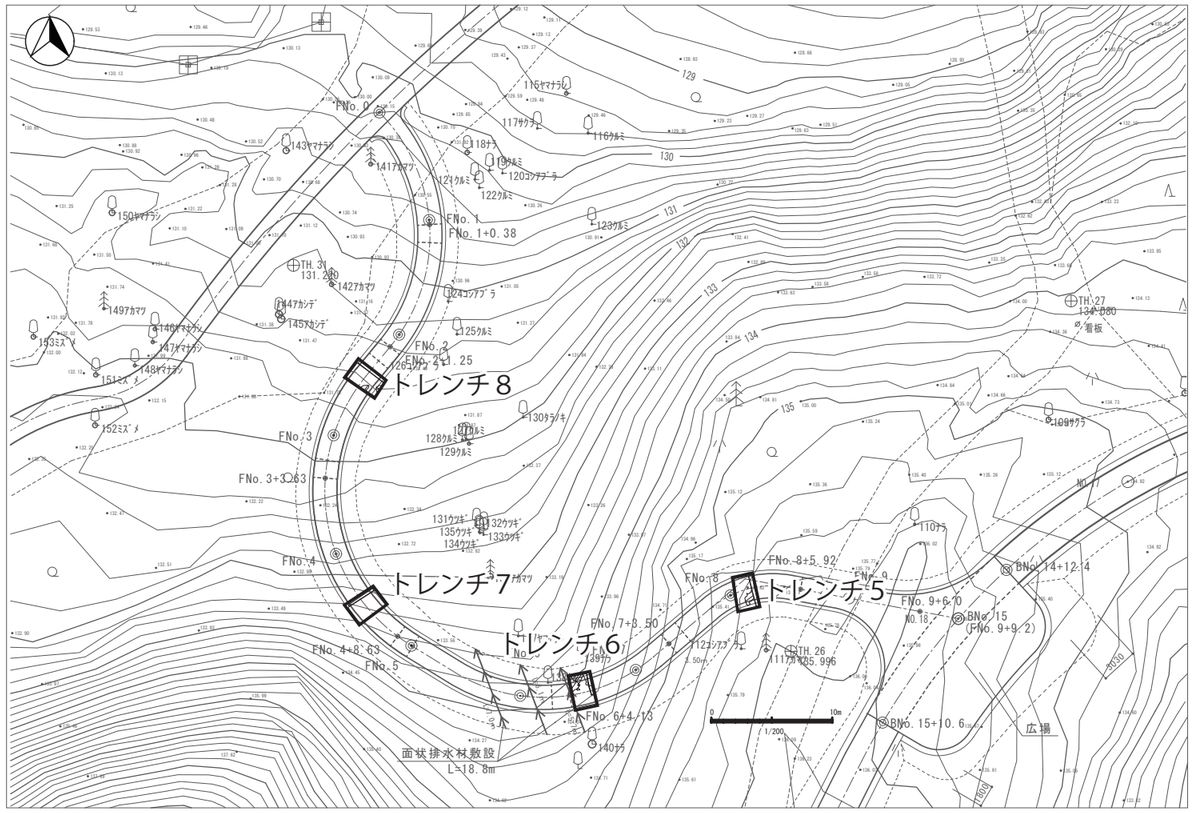
・トレンチ上段から中段にかけては、遺物の散布密度が高く、接合個体もみられることから、捨て場の延長である可能性が高い。

・トレンチ中段から下段にかけては、遺物の散布密度は上段に比べると低いが、接合個体も確認されており、捨て場の範囲が延長する可能性もある。

・上段東側で、黄褐色土の堆積が確認されている。遺物包含層が削平されており、縄文時代以降に削平されたと考えられる。

・遺物は、大洞 BC 式～ C1 式を主体とする縄文土器、石器、土製品（土偶）、石製品（円盤状石製品）が出土している。

スロープ園路整備予定箇所試掘調査



調査概要

・スロープ園路整備予定箇所について、地下遺構の有無を確認するために試掘調査を実施。２m×３mのトレンチを４箇所設定した（トレンチ５～８）。

〈トレンチ５〉

層序：１層（表土）、２層（暗褐色土と黄褐色土の混合土層）、３層（地山）。

遺構：なし　遺物：縄文土器（２層）

〈トレンチ６〉

層序：１層（表土）、２層（黒色土層）、３層（暗褐色土層）、４層（漸移層）、５層（地山）。

遺構：なし。　遺物：縄文土器（２、３層）。土器集中箇所を３箇所を確認した。

〈トレンチ７〉

層序：１層（表土）、２層（旧表土）、３層（黒色土層）、４層（漸移層）、５層（地山層）。

遺構：なし　遺物：縄文土器（２、３層）

〈トレンチ８〉

層序：１層（表土）、２層（旧表土）、３層（黒色土層）、４層（漸移層）、５層（地山）。

遺構：なし（植栽痕と思われる落ち込み２基あり）　遺物：縄文土器（１層）

トレンチ５　２層確認状況（西から）

トレンチ６　３層確認状況（南から）

トレンチ６　土器集中１確認状況（東から）

トレンチ６　土器集中３確認状況（東から）

トレンチ７　３層遺物出土状況（北東から）

トレンチ８　３層（地山）確認状況（北東から）

調査所見

・トレンチ６において確認された掘り込みは、表土下からの掘り込みであり、新しい時代のものと判断され、また、そのほか確認された掘り込みも植栽痕と考えられることから、整備予定箇所においては遺構はないものと考えられる。

・これまでの調査から、台地北東側の斜面は捨て場として利用されていたことが想定され、トレンチ６において確認された土器集中については、上部の斜面からの流れ込みにより堆積したものと考えられる。